

「こうなるといいな

こんなことしてみたいな」

本校では、五月の運動会を皮切りに、様々な活動に元気一杯取り組んでいます。

また、理想の学校生活や実現させたいことについてみんな考えて参りました。その一端をご紹介します。

「1ねんせいになって たのしみになっていること」

一年 田村 颯大

ぼくが1ねんせいになってたのしみになっていることは、あながくです。

おんがくしつで、がつきをつかってオーケストラのように、えんそうしてみたいからです。

「あかしょうの1ねんせいにな ってたのしみになっていること」

一年 藏谷 郁花

わたしが、たのしみになっていることは、おともだちができることです。

みんなといっしょにおはなしたり、うんていやぶらんこであそんだりしたいです。

「ちようせんしたいこと」

二年 黒田 健斗

ぼくは、みんなと先生に、げん気なあいさつをしたいです。

どうしてかというと、あいさつをする、みんながえがおになるからです。じぶんからあいさつをして、みんなあかるい赤小にしたいです。

「ちようせんしたいこと」

二年 酒井 珠菜

わたしは、てつぼうのさかあがりちようせんしたいです。どうしてかという、一年生のとき、さかあがりかできなかつたからです。学校やこうえんやいえにてつぼうがあるので、れんしゅうをして、さかあがりができるようにしたいです。

「大すきな赤小の三の二」

三年 木内 煌翔

三の二のすきなところは、みんなできょうりよくして、たすけ合えるところです。もつとなかよしなクラスになれるように、みんなといっしょにあいさつを友だちどうしでいっしょにいきたいです。

「赤小のすきなところ」

三年 岡田 千穂

わたしは、図書室がすきです。いろいろな本があり、すきな本やはじめに見る本などたくさんあってすごいと思います。

ます。さいきはまっています。本は「ミミックばん、せかいの伝記」で、とても気に入っています。もつと昼休みや中休みにたくさん本をかりたいです。

「赤小のすきなところ」

三年 阿部 愛璃

わたしの赤小のすきなところは、自分の教室です。なぜかという、教室にいと安心するし、友だちや先生とすごす時間が楽しいからです。もちろん、べん強や休み時間も大すきです。赤小でよかつたなと思っています。

「明るい赤小にするために 自分ができること」

四年 久保 隼人

ぼくは、赤小を明るい学校にするために、思いやりの気持ちをもって、人にやさしくしたいです。そのやさしさがみんなに伝わって、みんなもやさしくなったら、赤小はもつともつと明るく楽しい学校になると思います。

「明るい赤小にするために 自分ができること」

四年 中村 絢音

私にできることは、いつも明るく元気なあいさつをした

り、相手の気持ちを考えて行動したりすることです。もし、こまっている下級生を見かけたら、すぐに手助けのことができるやさしい上級生を目指し、たがいに助け合えるすてきな赤小にしたいです。

「野木の自まん」

五年 島村 奏成

野木町の自まは、れんががまど野木神社です。れんががまは、関東大しん災でも、二基もちたえることができたらからです。また、野木神社には、五月ごろにフクロウがとんできます。見てみると、すごい力です。自然ゆたかな野木町を大切にしたいです。

「野木町のよみ」

五年 木村 紗英

私は、野木町のひまわりがすきです。なぜなら夏になると、たくさんひまわりがさくところがあります。私はそこを通るときいつもきれいなと思います。わたしはそんなひまわりが大好きです。これからは、野木のよいところとして広めたいです。

「野木町のよみ」

五年 石井 杏樹

わたしが考える野木町のよさは二つあります。一つ目は自然豊かなところです。たくさん緑やひまわりなどとてもきれいです。二つ目は、歴史を大切にしているところです。

「未来の赤小は、 こうなっているといいな」

六年 伏木 叶

ぼくは、未来の赤小が明るく、何事にも挑戦できる子がいっぱいいる学校になっているといいなと思います。

なぜなら、赤小の子が明るくなるとふんい気もよくなるし、様々なことに挑戦することから出てくることが増え、将来に役立つと思うからです。

「未来の赤小はこうだ」

六年 渡辺 花音

私は、未来の赤小は、みんなが協力して仲のよい明るくて素直な優しい学校になっていると思います。私が思う「未来の赤小」に少しでも近づくために最高学年として低学年に優しくしたり何ごとにも全力で取り組んだりしていきたいです。